

【検討委員会資料】

魚沼市農村環境計画策定
検討委員会設置要綱

魚沼市農村環境計画策定検討委員会設置要綱

平成18年12月15日

告示第167号

(設置)

第1条 農業農村整備事業の実施にあたり、総合的かつ効率的な環境保全対策を講じる基本計画として魚沼市農村環境計画を策定するため、魚沼市農村環境計画策定検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(組織)

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 知識経験を有する者
- (2) 関係団体の役職員
- (3) その他市長が必要と認める者

2 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選任する。

3 委員長は、会務を総括する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

5 委員の任期は、魚沼市農村環境計画の策定の完了までとする。

(会議)

第3条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(所掌事項)

第4条 委員会は、魚沼市農村環境計画策定について調査し、審議するものとする。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、農林課において処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成18年12月15日から施行する。

第1回検討委員会

平成19年3月26日（月）
午後1時～午後5時
於：広神庁舎202階会議室

第1回魚沼市農村環境計画策定検討委員会次第

1 開 会

2 農林課長あいさつ

3 委嘱状交付

4 委員長、副委員長の選出

5 議 事

（1）農村環境計画の概要説明

（2）農村環境計画策定の目的と検討委員会の位置づけ

（3）その他

6 管内視察

7 閉 会

第1回魚沼市農村環境計画策定検討委員会

平成19年3月26日（月）午後1時～2時半 於 広神庁舎202会議室
 午後2時半～5時 於 魚沼市内現地

◎検討委員会

No.	氏名	役職等
1	三沢 眞一	学識経験者（新潟大学農学部教授）
2	浅井 守雄	魚沼市議会産業建設委員会 委員長
3	櫻井 敬祐	魚沼市農業委員会 会長職務代理
4	荒井 俊幸	指導農業士会 会長
5	鈴木 健市	青年農業士会 会長
6	田澤 幸子	北魚沼女性交流協議会 会長
7	高橋 日出子	北魚沼女性交流協議会 幹事
8	山之内 よみ子	北魚沼女性交流協議会
9	坂西 満男	魚沼市土地改良区 理事長
10	上村 喜久雄	北魚沼農業協同組合 営農課長
11	阪西 由紀夫	魚沼市観光協会 会長
12	林 長治	魚沼地域振興局農業振興部 副部長
13	浅井 二郎	新潟県入広瀬地域鳥獣保護員
14	近 忠良	広神村・守門村自然環境保護員

※委員長は坂西満男氏 副委員長は浅井守雄氏

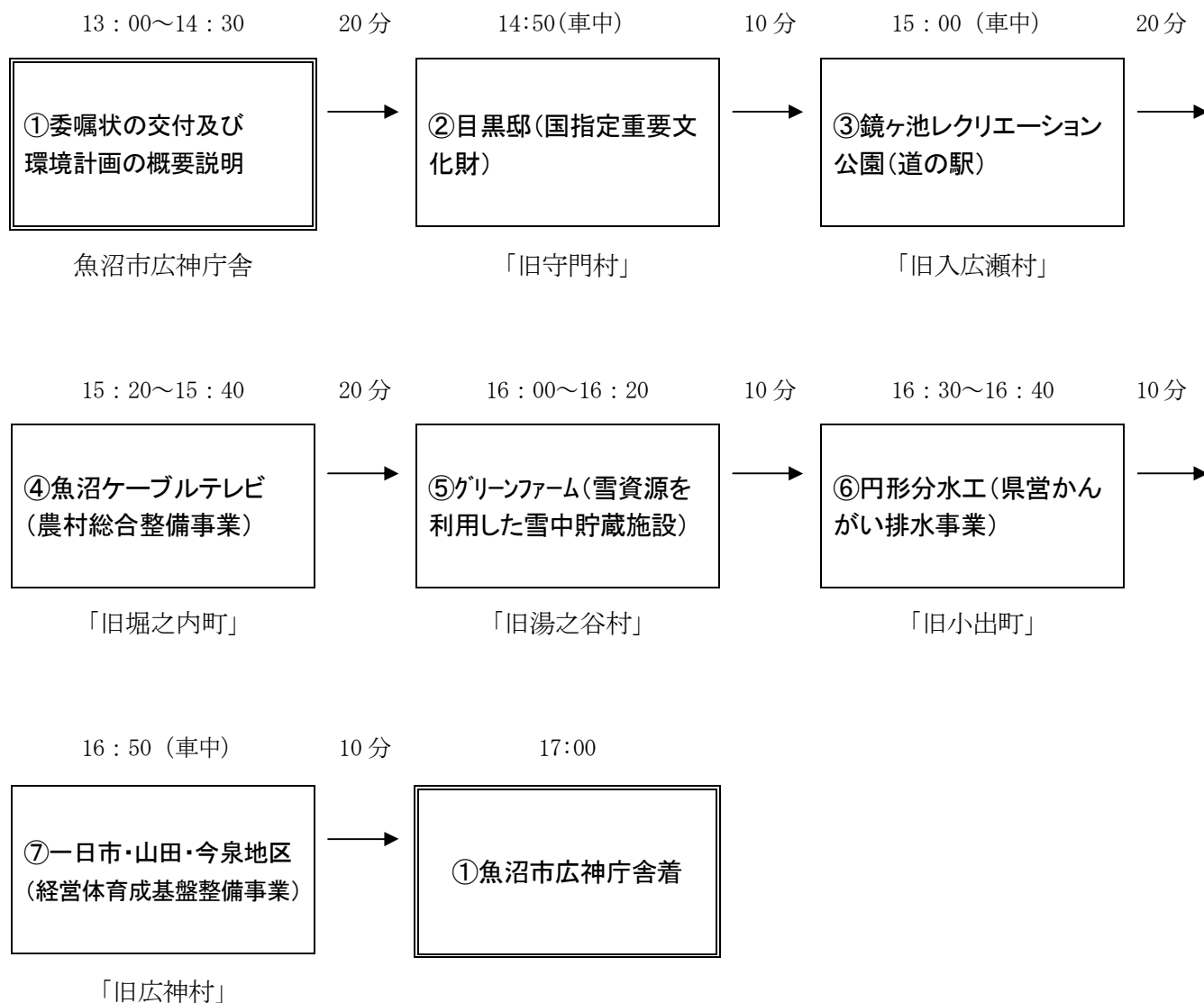
※検討委員欠席は鈴木健市氏、高橋日出子氏、上村喜久雄氏、阪西由紀夫氏

◎事務局

No.	氏名	役職名
1	大 淵 好文	魚沼市農林課長
2	佐 藤 章雄	農地班係長
3	渡 辺 一彦	農地班主任
4	加 藤 稔	新潟県土地改良事業団体連合会 技術部情報課長
5	井 口 義夫	技術部北魚沼支部事務所長

魚沼市農村環境計画検討委員会 現地視察日程表

平成19年3月26日



第1回魚沼市農村環境計画策定検討委員会議事録

No.	意見	対応
1	検討委員会が年3回予定されていますが、予定はどのようになっていますか。	第2回が7月～8月頃、第3回が11月頃、第4回が年を明けて1月頃を予定しています。
2	原案は事務局でし、検討委員会にて意見を申し上げる形で進めていくのでしょうか。	事務局で原案を作成し、それをたたき台として、検討委員会の皆様方から率直な意見を頂きたいと思います。
3	魚沼市も合併してずいぶん広くなりましたが、生き物調査は計画されていますか。	今年度は11月に行いました。来年度にもう一度行う予定です。また、地域があまりにも広いため、検討委員の浅井氏と近氏からお話や資料を頂きながら取りまとめていきたいと思っています。
4	上流域は環境が良いイメージがあるが、実際は、水源に近いところほどタイヤや家電製品の不法投棄に非常に悩まされている。また、山奥のまったく人が行かないようなところで、サーチライトをつけて飛んでくる昆虫を一網打尽にする人もいる。上流側地域の環境をどのように守っていくかが大きな課題であると思います。	
5	ホタルやドジョウは昔はたくさんいたが、水路がコンクリート化されたり、農閑期に水が止まるので、最近はあまり見かけなくなった。	
6	民家でも時々新聞にできるように、灯油が何リットルか漏れ、水路に流出することで、魚が住めなくなり、また、ホタルも絶えたと思う。大変な問題であると思う。	
7	八色原の方では、ホタルは増えています。ドジョウもいます。農家の立場から言うと、低農薬を使っているのに、ドジョウが全部死ぬということはありません。	

現地視察を行った際の検討委員の感想

No.	好きな場所（理由も）	保全したいと思う場所、もの（理由も）	改善した方が良くと思う場所、もの（理由も）	魚沼市農村環境計画策定にあたってのご意見など
1	・目黒邸	・目黒邸 ・円形分水工	・グリーンファーム ・食の時代が変わった。	・各地区に自然環境を残すべき
2	・金比羅山からの須原平（山、川、田、森） ・保久礼、護人清水（守門岳山麓）のブナ樹林 ・清水、戸隠（長松）地区に群生するカタクリ	・権現堂山のアズマシヤクナゲ ・守門岳縦走線のシラネアオイ、ヒメサユリ ・共に減少傾向	・用水路の三面張り工法の見直し（自然浸透型流水） ・不法投棄（特に林道、沢）による水質汚染から希少生物及び景観の衰退	・市各地区の現地実態を調査把握しながらが前提に思った。
3	・鏡ヶ池レクリエーション公園（自然がいっぱいで美しいから） ・目黒邸（魚沼では貴重な豪農住宅だから）	・農村環境という視点から、見たことも考えたこともない現地在りほとんどで、コメントできかねます。	・農村環境という視点から、見たことも考えたこともない現地在りほとんどで、コメントできかねます。	・きれいな空気と水を最大限に生かして、自然を大切に考えた計画に。 ・各集落等でボランティア的に活動して大切に保存している場所等も視野に入れてほしい。

第2回検討委員会

平成19年10月26日(金)
午後1時半～午後4時
於：広神庁舎202階会議室

第2回魚沼市農村環境計画策定検討委員会次第

1 開 会

2 議 事

- (1) 前年度までの経緯について…説明
- (2) 市民アンケート結果について…説明
- (3) 環境資源マップについて…説明
- (4) 環境資源の現状と課題（案）について…説明及び審議
- (5) 環境保全の基本方針（案）について…説明及び審議
- (6) 今後の予定について
- (7) その他

3 その他

4 閉会

第2回魚沼市農村環境計画策定検討委員会

平成19年10月26日（金）午後1時半～4時 於 広神庁舎202会議室

◎検討委員会

No.	氏名	役職等
1	三沢真一	学識経験者（新潟大学農学部教授）
2	桐生克己	魚沼市議会産業建設委員会 委員長
3	櫻井敬祐	魚沼市農業委員会 会長職務代理
4	荒井俊幸	指導農業士会 会長
5	鈴木健市	青年農業士会 会長
6	田澤幸子	北魚沼女性交流協議会 会長
7	高橋日出子	北魚沼女性交流協議会 幹事
8	山之内よみ子	北魚沼女性交流協議会
9	坂西満男	魚沼市土地改良区 理事長
10	上村喜久雄	北魚沼農業協同組合 営農課長
11	阪西由紀夫	魚沼市観光協会 会長
12	林長治	魚沼地域振興局農業振興部 副部長
13	浅井二郎	新潟県入広瀬地域鳥獣保護員
14	近忠良	広神村・守門村自然環境保護員

※委員長は坂西満男氏 副委員長は桐生克己氏

※検討委員欠席は櫻井敬祐氏、荒井俊幸氏、田澤幸子氏、高橋日出子氏、山之内よみ子氏、林長治氏

◎事務局

No.	氏名	役職名
1	大淵好文	魚沼市農林課長
2	大塩安弘	農地班係長
3	渡辺一彦	農地班主任
4	加藤稔	新潟県土地改良事業団体連合会 技術部情報課長
5	片岡弘行	技術部北魚沼支部技師



第2回魚沼市農村環境計画策定検討委員会議事録

No.	意見	対応
1	自然環境資源のビオトープ事業とは何か教えてください。	保全対象種の生息環境を整備・管理する事業です。最近では、メダカの生息環境を考慮した水路の整備や生息環境の管理がおこなわれています。また、都市部においてビル屋上にビオトープ施設を作る等が行われています。
2	魚沼市の川はとても魅力的な資源だと思います。一般成人アンケートにおいても将来にわたって子孫に残したい資源として、川に関するものが多いことがわかります。そこで、「清流」や「環境教育」といったものをもう少し重視したほうがよいのではないかと。	自然環境資源の資源分類に「川」を追加し、それを保存していくための課題をまとめます。また、「環境教育等の啓発活動」を盛り込みます。
3	上流域で生活を営むこと自体で、環境を適切に保ち、下流域の人々もその恩恵を受けている。そこで、生活することが地域社会を守るという意識が伝わるようにしたい。また、はっきりとした目的がないと、それぞれの課題の解決は難しいと思うが。	現段階では魚沼市全体の現状と課題を考える段階ですが、今後は、具体的な整備計画や行い、対応方策について検討し、それぞれの地域ごとのゾーニングを検討していく予定です。
4	下水道の整備が進んでいる中で、「下水道の整備」を課題とするのはどうか。	山間部の限界集落のような地域では、高齢化が進行して、浄化槽の維持管理が困難で、水質が悪化しているところもあります。従って、「生活排水処理施設の効果発現」に変更します。
5	自然環境資源マップに「川」や「山」の具体的な名称を提示したほうがよいのではないかと。	中学二年生アンケートの「残しておきたい自然が豊かな場所」で回答があった川と山をマップへ示します。
6	生産環境資源マップに「農地・水・環境保全向上対策」、「中山間地域等直接支払制度」等について示したほうがよいのではないかと。	マップの凡例に、農地・水・環境保全向上対策に取り組む組織名および、中山間地域等直接支払制度を活用する集落名を提示します。
7	基本方針には、里山管理を重視するような意図が伝わるようなものが良いと思うが。里山は緩衝地帯としても重要な役割を果たしています。	基本方針ではキーワードを模索する段階ですが、今後、里山整備重視のエリア等、地域の特性に応じたゾーニングを検討していきます。また、市では森林整備計画も策定中です。里山整備を考慮した計画としていきたいと思います。
8	集落汚泥のリサイクルについては検討されていますか。	市では現在堆肥センターについて計画中です。しかし、農地に還元するまでの計画にはなっていないので、構想として検討していきます。
9	「ブラックバス等の放流禁止」とあるが、未だ放流し続けている人がいるというイメージが強いと思うが。	ブラックバスはキャッチアンドリリースについても法律で禁止されていますが、鏡が池やダム等の上流域で、バス釣りをしている人が見受けられるのが現状です。従って、「ブラックバス等の放流行為の取締り」へ変更します。
10	生産環境基本方針の「農業のいろいろ～」は「農業のさまざま～」にしたほうが良いのではないかと。	「農業のさまざま～」に訂正します。

第3回検討委員会

平成19年11月29日(木)
午後1時半～午後4時半
於：広神庁舎202階会議室

第3回魚沼市農村環境計画策定検討委員会次第

1 開 会

2 議 事

- (1) 第2回検討委員会のとりまとめ結果について…説明
- (2) 地域の整備計画について…説明
- (3) 農業農村整備事業における環境への対応方策について…説明及び審議
- (4) その他

3 その他

4 閉 会

第3回魚沼市農村環境計画策定検討委員会

平成19年11月29日（木）午後1時半～4時半 於 広神庁舎202会議室

◎検討委員会

No.	氏名	役職等
1	三沢真一	学識経験者（新潟大学農学部教授）
2	桐生克己	魚沼市議会産業建設委員会 委員長
3	櫻井敬祐	魚沼市農業委員会 会長職務代理
4	荒井俊幸	指導農業士会 会長
5	鈴木健市	青年農業士会 会長
6	田澤幸子	北魚沼女性交流協議会 会長
7	高橋日出子	北魚沼女性交流協議会 幹事
8	山之内よみ子	北魚沼女性交流協議会
9	坂西満男	魚沼市土地改良区 理事長
10	上村喜久雄	北魚沼農業協同組合 営農課長
11	阪西由紀夫	魚沼市観光協会 会長
12	林長治	魚沼地域振興局農業振興部 副部長
13	浅井二郎	新潟県入広瀬地域鳥獣保護員
14	近忠良	広神村・守門村自然環境保護員

※委員長は坂西満男氏 副委員長は桐生克己氏

※検討委員欠席は鈴木健市氏、上村喜久雄氏、阪西由紀夫氏

◎事務局

No.	氏名	役職名
1	大淵好文	魚沼市農林課長
2	大塩安弘	〃 農地班係長
3	渡辺一彦	〃 農地班主任
4	加藤稔	新潟県土地改良事業団体連合会 技術部情報課長
5	片岡弘行	〃 技術部北魚沼支部技師



第3回魚沼市農村環境計画策定検討委員会議事録

No.	意見	対応
1	自然環境資源マップへ示す「川」や「山」について、中学二年生アンケートの「残しておきたい自然が豊かな場所」で回答があった川や山のみではなく、魚沼市全体の主な川や山を示したほうがよいのではないか。	「魚沼市観光ガイド」等を参考にして、魚沼市の主な川や山について、自然環境資源マップへ示します。
2	自然環境資源—保存すべき資源—動物へ、ツキノワグマ等だけではなく、他の動物も記載した方がよいのではないか。	他の動物等については、自然環境資源—保存すべき資源—絶滅危惧種に記載していましたが、「キツネ・タヌキ・オジロワシ・クマタカ等」を追加します。
3	自然環境資源について、山のイメージが伝わるものを記載したほうがよいのではないか。	改善すべき資源—その他へ「越後三山の景観」を追加します。
4	Ⅳ-2ページのNO34に記載のある、「花卉公園植栽」は「花卉公園植栽」ではないか。	「花卉公園植栽」に修正します。
5	Ⅴ-8ページに記載のある、「クワ畑など」について、現在、魚沼市において、クワ畑はほとんど見られないのではないか。	クワ畑がほとんど見られないため、削除します。
6	Ⅴ-21ページの(3)農業農村整備事業における環境保全目標(案)①「市街地の遊休農地を～」とあるが、市街地に限定しないほうがよいのではないか。	「市街地の」について削除します。
7	地域の整備計画の各種整備計画について、将来のNN事業について記載しなくてもよいのか。	現在、平成19年度時点において、魚沼市で実施がほぼ確実なものについて記載しましたが、今後追加していく予定です。
8	ゾーニングを行う上で、もう少し魚沼市の現状に合わせてゾーニングを行ったほうがよいのではないか。	次回の検討委員会において、今回の参考資料として添付しました農業農村における整備計画の中で、ゾーニングを提案して、審議して頂く予定となっています。
9	県営ほ場整備事業を計画する上で、魚沼市の旧町村単位で1箇所ずつ、メダカ等の動植物を保存できるようなモデル地区を計画してほしい。	現在、県営ほ場整備事業を計画する上で、環境に配慮した計画を進めています。また、一日市地区等においては、ほ場整備事業に伴い、生き物引越し作業を行っております。
10	県営ほ場整備事業で、環境教育の場、子供が遊べる場所を整備してほしい。	今泉地区等で、小学生の参加による生き物調査を実施しています。

第3回魚沼市農村環境計画検討委員会議事録

No.	意見	対応
11	減減農薬といっても、消費者の理解が不可欠であり、現実的には難しい。消費者は少しでも虫がついている事に対しては毛嫌いです。蕎麦や野菜などはネットでもかけないと満足なものは収穫できない。	
12	農薬も最近では生物にやさしいものとなってきている。昔よりは良いものとなっている。	
13	野菜は自分の口に入れるものは農薬をかけないようにしている。	
14	有機農業等について県の指導を受けたいがよくわからない。県の方でもっと普及指導をアピールしてほしい。	
15	最近、水路でホタルやタニシを見なくなった。農薬だけの問題ではないような気がする。スタンドが2箇所できたが、そこからの流入する油も一因でないかと考えられる。	

第4回検討委員会

平成20年 1月17日(木)
午後1時半～午後4時半
於：広神庁舎3階会議室

第4回魚沼市農村環境計画策定検討委員会次第

1 開 会

2 議 事

- (1) 第3回検討委員会のとりまとめ結果について…説明
- (2) 農業農村整備事業における整備計画について…説明及び審議
 - ① 広域的整備計画の策定について
 - ② 地域別整備計画の策定について
 - ③ 農村環境計画図の作成について
 - ④ 環境整備イメージについて

3 検討委員会の総評

4 その他

5 閉会

第4回魚沼市農村環境計画策定検討委員会

平成20年1月17日(木) 午後1時半～4時半 於 広神庁舎3階会議室

◎検討委員会

No.	氏名	役職等
1	三沢 眞一	学識経験者(新潟大学農学部教授)
2	桐生 克己	魚沼市議会産業建設委員会 委員長
3	櫻井 敬祐	魚沼市農業委員会 会長職務代理
4	荒井 俊幸	指導農業士会 会長
5	鈴木 健市	青年農業士会 会長
6	田澤 幸子	北魚沼女性交流協議会 会長
7	高橋 日出子	北魚沼女性交流協議会 幹事
8	山之内 よみ子	北魚沼女性交流協議会
9	坂西 満男	魚沼市土地改良区 理事長
10	上村 喜久雄	北魚沼農業協同組合 営農課長
11	阪西 由紀夫	魚沼市観光協会 会長
12	林 長治	魚沼地域振興局農業振興部 副部長
13	浅井 二郎	新潟県入広瀬地域鳥獣保護員
14	近 忠良	広神村・守門村自然環境保護員

※委員長は坂西満男氏 副委員長は桐生克己氏

※検討委員欠席は鈴木健市氏、上村喜久雄氏、浅井二郎氏

◎事務局

No.	氏名	役職名
1	大淵 好文	魚沼市農林課長
2	大塩 安弘	〃 農地班係長
3	渡辺 一彦	〃 農地班主任
4	加藤 稔	新潟県土地改良事業団体連合会 技術部情報課長
5	片岡 弘行	〃 技術部北魚沼支部技師



第4回魚沼市農村環境計画策定検討委員会議事録

No.	意 見	対 応
1	ゾーニングによって整備計画を進めていくことになるが、実際にゾーニングには入っていない場所で、同じようなことをしたいとの提案があった場合に、手を挙げた場所での優先順位等に結びつくようなものとなるのか。ゾーニングの効力とはいったいどのようなものであるか。	ゾーニングには法律的な縛りはありません。農業農村整備事業において、ゾーニングに沿った整備計画を推進していきたいというマスタープラン(基本構想)です。環境配慮を行う上で、いままでは事業単位でしか捉えていなかったものについて、魚沼市全体を眺めながら方向性を考えていきたいという基本計画となるものです。また、詳細な計画は、実施計画時点において検討されることとなりますが、その時のたたき台となるものです。
2	農業以外にも地域整備や観光関連のゾーニングを多く含んでいるが、他の関連の人達の意見を聞かないことには、計画が独り歩きしないか。	ゾーニングは上位計画である第1次魚沼市総合計画に沿った計画となっております。また、今後はパブリックコメントを実施して、広く市民の方々に意見を求め、その意向を反映した計画の作成を行っていきます。
3	農林課とプランニングを行う方々で共同して作業を行っているのですか。	基本部分について委託を行いながら、共同にて計画を策定しております。
4	堀之内のユリや魚沼産コンヒカリの生産地として推進していくというように、もっと地域の特徴的なことについて記述してほしい。	三沢先生よりご指導頂きながら、内容について再確認し修正していきます。
5	VI-14ページの自然体験ゾーンに記載のある、「唐津山」は「唐松山」ではないか。	「唐松山」に修正します。
6	VI-20ページの、温泉観光交流エリア(お祭り体験)のイメージ写真は、温泉のイメージがもっと伝わるような写真を使ったほうがよいのではないか。	大湯温泉の写真へ修正します。
7	VI-21ページに記載のある、「浅草山エコミュージアム」は「浅草山麓エコミュージアム」ではないか。	「浅草山麓エコミュージアム」に修正します。
8	6か町村が合併して、他地域のについてはあまり知らなかったが、魚沼市全体の現状と課題を把握しながら、農業及び環境をどうしていくべきかを考えていくことは、大変勉強になった。	
9	魚沼市はひじょうに環境に恵まれた場所であると思います。非農家を含めた地域住民の方々と話し合いを進めながら、周囲の環境と調和した実施計画を策定していきたい。また、環境に配慮した施設については、後々維持管理が大変となってきますが、地域住民の方々の納得ができるような計画をしていきたい。	
10	雪などの資源を有効活用し、魚沼の特徴的な気候風土を活かし、魚沼に住むことが誇りに思えるような地域にしていきたい	

第4回魚沼市農村環境計画策定検討委員会議事録

No.	意見	対応
11	みなさんのいろいろな意見を聞いて、大変勉強になった。	
12	米づくりで生計を立てているが、魚沼の米、地産池消に特に重点的に力を入れていただき、魚沼のすばらしいところをいろいろな方面へアピールしてほしい。	
13	自然を保護していく作業には、住民のボランティア等を十分に活用した方法にしてほしい。事業について、どこまでどうなるかはっきりしてほしいというのが希望です。	
14	魚沼市の財政も厳しくなってきたのが現状ですが、できるだけ実現可能なものとして協力していきたい。	
15	山は水源の涵養機能を果たしています。また、春には山菜などがたくさん収穫できます。しかし、近年は林道の管理、補修がなかなか行き届かず、山に車で入れない状況にあります。既に出来ている林道等の資源を有効に活用しながら、計画を推進していく事で、有意義なものとなっていくと思います。	
16	魚沼市の各地域地域で代表的な作物を育てられるようにしていきたい。昨年、魚野川にあった産業廃棄物を撤去したところ、アユやカジガが増えてきた。やはり、みなさんで力を合わせて、産業廃棄物等を撤去して、水をきれいにする事が大切であると思います。	
17	魚沼市は他の地区と比べ、山紫水明のきれいな川、越後三山の景観、おいしいコシヒカリと、大変自然の資源に恵まれていると思います。その特徴をもった地域特性を活かして、これから生き残っていく必要があると思います。その方策として、都市との交流や、都市の方々に農産物を買って頂くといった、交流のかたちをつくること、生き残りに繋がると思います。そして、都会の方には美しい景観がとても大切となります。北海道美瑛町のパッチワークの丘では、台湾からの観光客も農村の風景を見に来ています。美しい景観はとても人を惹き付ける魅力があると思います。魚沼でも越後三山、魚野川、佐梨川等のきれいな景観の魅力をとりにこんだ、農村環境をつくり、大勢の人が四季魚沼へ行きたいと思うようになってほしいです。	